

「次世代へつなぐ美しい伊豆 ～2050年に届けたい景観とは？～」

～平成27年度第1回静岡県景観セミナーを開催しました～

静岡県では、良好な景観形成を推進するため、市町や県の職員、まちづくり団体等を対象に、平成18年度から景観セミナー（講習会）を定期的に開催しています。今回は、韮山反射炉の世界文化遺産登録や、伊豆半島の世界ジオパークネットワークへの加盟を控え、大きな飛躍の可能性を秘めている伊豆地域に焦点を当てて開催しました。今回の景観セミナーを皮切りに、今後、県や伊豆地域の市町及び、美しい伊豆創造センターや伊豆半島ジオパーク推進協議会で、協議会を設立し、魅力あふれる景観形成に向けて検討を行ってまいります。

日 時：平成27年6月26日（金）14時から16時
場 所：起雲閣（熱海市昭和町）
参加者：一般県民、県及び市町職員 計97名

- 14:00 開会挨拶
（伊藤都市整備統括監）
- 14:10 静岡県における景観形成の重要性
（景観まちづくり課）
- 14:30 講演「次世代へつなぐ美しい伊豆
～2050年に届けたい景観とは？～
（講師：NPOサプライズ 代表 飯倉清太氏）
- 16:00 閉会



飯倉氏による講演の様子

飯倉氏の講演概要

ゴミ拾いの経験から、地域づくりに関わるようになった。1つの行動が人を呼び、活動を広げ、地域を巻き込んだ大きな流れになっている。それらの経験を通じて景観づくりのヒントである「行動に移す」大切さや「人材育成」の重要性について講演をいただいた。

- ・景観形成には多様な関係者（都市計画、商工観光、教育、環境、建設等）が絡み合っている。
- ・景観づくりは地域づくりとの関連が大きい。
- ・次世代を担う人材の育成は非常に重要であり、景観形成においては、**今やれることと、将来のためにやることの2つの視点を持つことが必要。**
- ・次世代を担う若者に、**地域と関わる場を持ち、自分の地域の良さを知ってもらうことが必要。（好き→誇り→共感）**
- ・**まずは動いてみる**ことが肝心である。（PDCAの前にDo）
- ・1000人で1回の活動をするより、10人で100回続く活動にすべき。



講師プロフィール

NPOサプライズ 代表 飯倉 清太 氏

1970年 静岡市生まれ（23歳にて現在の伊豆市へ移住）
2008年 NPOサプライズを設立
（主な取組）
地域高校とのコラボレーションにより「清掃甲子園」を実施
伊豆市や三島市において若者交流施設のプロデュースを手掛ける
（歴任した委員等）
内閣官房地域活性化伝道師、静岡県地域づくりアドバイザー
静岡県コミュニティ推進協議会委員 他

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部